

# JAPANESE KUTCHERI!

2008. 4. 26 (sat)  
18:00open / 18:30start  
@ Raya Sakuraya

Q カルナーティックって  
みんな楽器を使うの?



## Mridangam | ムリダングム

高音と低音で左右に分けられた両面太鼓。カルナーティック音楽でよく使われる打楽器で、独特な音ながら、奥深い響きが楽しめます。



## Ghatam | ガタム

見た目はただの素焼きの壺ですが、首や腰のあたりを叩くと、土独特の乾いた良い音がします。



## Morsing | モルシン

弁を弾き、その振動を口の中で共鳴させ演奏する口琴。南インドの口琴は鉄製。小さな楽器ながら、野太い音からゆるやかな倍音まで、不思議な音色が出ます。

## 南インド古典音楽=Carnatic Music【カルナーティック音楽】

日本で「インド料理」というとタンンドリーチキヤナンを連想するように、「インドの音楽」というとシタールや tabla を想像する人も多いはず。しかし、地方が変われば音楽も変わる。南インドには「カルナーティック」と呼ばれる独自の古典音楽があります。数学的で幾何学美あふれるターラム（リズム）、直感的で情感に響くラーガ（旋律）が織りなすカルナーティック音楽からは、わたしたちが忘れてしまったアジアの原風景が垣間見えることでしょう。

そんな南インド古典音楽に魅せられ、現地インドで修行する日本人たちがいます。三年間のインド音楽留学を経て帰国した声楽家・小尾淳子、伝統舞踊家であり両面太鼓ムリダングム奏者の入野智江、日本唯一の素焼き壺太鼓ガタム奏者・久野陽昭、インド口琴モルシンの奏者として、現地のライブに多く参加する竹原幸一。

「ジャパニ・カツチエリ!」は、日本の南インド古典音楽界を背負う若き奏者たち四人が、一堂に会する本格的カルナーティック・ライブです。

## Player 演奏家たち



**小尾 淳子** (2010年4月)  
南インド古典音楽家。  
94年より舞踊家・野火香子氏に師事。短期留学のため渡印を重ね、舞踊理論と実践、南インド古典音楽、声楽の基礎を学ぶ。2004年より3年間、タミル・ナードゥ州テルヴァイヤー音楽学校に留学。「サーラヤ・フェイタル・アラーダナー」出演のほか、節のもとでソロ公演を行う。帰国後、大東文化大学院アジア地域研究科に入学。  
<http://marppu.ic2net.com>



**入野 智江** (1974年10月)  
古典舞踊家、打楽器奏者。  
劇団演兵衛サポートアーティスト兼二、役者として活躍後、南インドの打楽器ムリダングム、イダックキヤ、カンスクリット古典劇ナンディヤールコートウ、クーリヤタムを学ぶ。95年、ナンディヤールコートウ初舞台。日本唯一の演奏者として公演やワークショップを精力的に行いながら、ケララ打楽器の普及にも努める。  
<http://www.parcity.ne.jp/athisya>



**久野 陽昭** (1970年8月)  
素焼き壺太鼓ガタム奏者。  
東京外国語大在学中にアジア・中央・ヨーロッパ各地を旅行、インド音楽と出会う。2003年より、南インドにてガタムを学ぶ。2005年、パーカッションユニット「Ja Bajang」結成。「オールインドリアドゥルバッドメーラ」(バラナシ)に出演しアワード受賞。「ティヤガラジャ・アラーダナー」(ティルヴァイヤール)出演。日本唯一のガタム奏者として、インド古典音楽を中心に幅広く活動。  
<http://ghatam.exblog.jp>



**竹原 幸一** (1946年10月)  
口琴奏者。全道ムックリ大会で優勝を重ね、独自の演奏スタイルを構築する中、南インド古典音楽と出会う。2003年よりチェンナイのパーカッション学校 Sri Ganesh Talavadya Vidyalaya に入学。T.H.ヴィナヤクラム氏に師事し、インド口琴を学ぶ。インド国内での公演多数。有名奏者とも共演している。  
<http://www.adamainthemorsing.com>

4/13 sun PRE EVENT  
南インド古典音楽  
リズム・ワークショップ

モルシン奏者・竹原幸一とガタム奏者・久野陽昭によるワークショップ。南インドの音楽体系に造詣の深い二人が、リズムの基礎や演奏法について解説。インド音楽初心者も大歓迎!

時間: 14:30 ~ 17:30  
※14:15にJR秋葉原駅集合。  
場所: 東京・秋葉原  
料金: 3,000円 (要予約・20人まで)  
< 問 > : ghatamplayer@yahoo.co.jp

## Ticket & Access ご予約・交通アクセス

料金: 3,000円 (チャイ・インドの軽食付)  
※要予約。席に限りがございますので、ご予約はお早めにお願いたします。以下のメールか電話、FAX いずれかへ氏名、連絡先、参加人数をお知らせ下さい。

ご予約は  
お早めに

Raya Sakuraya ラヤ・サクラヤ

〒240-0024 横浜市保土ヶ谷区戸ヶ谷町2

TEL&FAX (045)713-5303

info@raya-sakuraya.com

www.raya-sakuraya.com

